

授業科目名・形態	助産管理論 講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	三崎直子・松江喜美代	開講期	4年前期	単位数 2

【授業の主題】

助産管理に必要な理論、および助産業務の法的範囲と責任について学び、病院や地域における質の高い助産ケアを提供できる助産活動を考える。

【授業の到達目標】

1. 助産管理に必要な知識、および助産業務の法的範囲と責任を理解する。
2. 出産施設および地域での助産管理を理解する。

【授業計画・内容】

第1回	助産管理の意義と概念	(三崎)
第2回	助産管理と助産師の業務	(三崎)
第3回	助産師の責務と法的義務	(三崎)
第4回	母子保健と助産	(三崎)
第5回	出産施設における周産期管理	(三崎)
第6回	地域および国際助産活動と他職種連携	(三崎)
第7・8回	助産師の教育と展望、助産師のキャリアアップ	(三崎)
第9・10回	助産を取り巻く課題と取り組み(演習)	(三崎)
第11回	助産所における助産業務管理	(松江)
第12回	助産所における助産業務管理	(松江)
第13回	助産師活動の実際	(松江)
第14回	助産師活動の実際	(松江)
第15回	開業助産師の実際	(松江)

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

助産に関する科目の復習をしておく。

【主な関連する科目】

「看護マネジメント論」、「助産学概論」、「助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」

【教科書等】

助産学講座10 助産管理 医学書院

【参考文献】

適宜、授業内で紹介する。

【成績評価方法】

前期定期試験で100%評価する

【学生へのメッセージ】

積極的な授業への参加を望みます。